

## ターゲットにならないためのポイント

窃盗犯は、「できるだけ早く、手間をかけず、あやしまれない」ような条件の物件に狙いを定めます。このような条件を少しでも減らしていくことが、防犯につながります。ここでは被害に遭わないためのいくつかのポイントをご紹介します。

- 空き巣**
- 補助鍵、センサーライト、防犯カメラ等の設備を整える。
  - 出入り口はもちろん、すべての窓のこまめな施錠を心がける。
  - 留守中も留守に見せないよう、家の明かりを一部つけておく。

- 車上狙い**
- 貴重品は車内に放置せず、必ず持って出る。
  - バッグ等を車内の見えるところに置かない。
  - 見通しのよいところに駐車する。

- ひったくり**
- 手荷物を車道側に持って歩かない。
  - 歩きながら携帯電話をするなど、無防備な状況をつくらない。
  - 自転車のかごには、ネットやカバーをつける。

## 犯罪情報、目撃情報をいち早くキャッチ

### ●あいこうか緊急メール

市では、地域の安全・安心対策を推進するため、緊急の情報をいち早くメール配信する「あいこうか緊急メール」を行っています。ここでは、気象や災害などに関する情報のほか、ひき逃げ情報、犯罪情報などといった警察からの情報も配信しています。

詳しくは市ホームページをご覧ください。



**凶悪犯罪が身近なところでも**

全国の刑法犯認知件数は、平成14年の32,183件をピークに、各種の防犯活動等により年々減少を続け、昨年には15,258件と7年連続で減少しています。

しかし最近のニュースを見ても、本心に単純な理由で人を殺す事件が数多く発生しています。特に6月22日に広島県で発生した、工場内を車両が暴走し、11人を次々と跳ねて死傷させた事件は記憶に新しく、凶悪な事件については一向に減少傾向にありません。



甲賀警察署生活安全課  
おおはし よういち  
大橋陽一 警部補

## 増える市内の犯罪 連携した活動で犯罪を防ぐ

私たちの地域ではどのような犯罪が多く発生しているのでしょうか、私たちにできることはどのようなことでしょうか。甲賀警察署の大橋さんにお話を伺いました。

**激増する窃盗事件**

甲賀署管内の今年6月末現在の刑法犯認知件数は888件で、前年の同時期と比べると181件増えており、全国的な減少傾向とは反対に増加の一途をたどっている状況です。

その増加の要因となっているのが、空き巣、車上狙い、万引き、ひったくり等の窃盗犯です。特に車上狙いが増加しており、6月末現在で

当署としても、車上狙いが多発しているマンションやパチンコ店等の駐車場に、防犯カメラの設置等を呼びかけ、犯罪抑止に努めています。さらに防犯を進めるため、今後は関係機関や地域の方と連携して犯罪抑止活動に力を注ぎ、犯罪を発生させない環境をつくりあげることが大切と考えています。

### 犯罪を発生させない環境づくりを

149件と、前年度の3倍近くに増加しています。6月には市内で、一晩のうち18台の車からカーナビが盗まれた事件も発生しています。これらの大半が防犯ビデオのない駐車場においての発生で、このうち3割が無施錠の車からの被害です。

私たちの暮らしを守るために

「まさか自分が…」  
その意識が狙われる

「犯罪は都会で起こっているもの。私たちの地域には関係ない話」  
残念ながらこのような意識は通用しません。

今年に入ってから、市内でも窃盗をはじめとする犯罪が増加しています。犯罪は多くの人が今まで体験したことがないため、自分とは無縁と考えがちです。しかし、私たちの暮らしのすぐそばまで犯人が近寄っているのが現実です。いつ狙われてもおかしくありません。

「少しだけ外出するだけだから」「少し車を離れるだけだから」「ここは犯罪が起きるようなところではないから」このような意識が絶対的標的となります。



被害に遭った人はたまたま運が悪かっただけではありません。むしろ、自分が被害に遭わなかったのは、たまたま運が良かっただけなのかもしれません。

近年、子どもやお年寄りが被害者となる犯罪や、車上狙い、ひったくり、空き巣など、私たちの暮らしを脅かす犯罪が増加しています。このような犯罪は市内でも急増しており、決して都市部だけで起こっている問題ではありません。

夏も本番に入りました。外出が増え、また、家の窓を開ける機会なども多くなるこの時期、特に犯罪が増える傾向にあります。私たちは、身近に潜む犯罪の危険性を知り、防犯に対する意識を高めることが必要です。

今回は、市内の犯罪事情や防犯に対する取り組みなどから防犯意識について考えます。

# 防犯意識

